

国府中学校にて、「令和7年度伴走支援事業」を活用した、「(株)先生の幸せ研究所」のコンサルタントによる「業務改善ワークショップ」を実施しました。

令和7年度 業務改善伴走支援事業

業務改善校内ワークショップ

業務改善ワークショップ（国府中学校）は、業務改善推進委員会（事務局）が主催し、学校の業務改善の推進を図るため、教職員が参加して行うワークショップを実施します。

対象：各、授業中の公立学校

「みんな」で業務改善に取り組みませんか？

所要時間：ワークショップ1回約90分程度
受付期間：令和8年2月まで

ワークショップ実施後、学校の希望に応じて、学校訪問やオンライン相談等により、業務改善をサポートします！

校内研修等でご活用ください！

各校との情報交換会も開催予定です！（参加自由）

【申込方法】 それぞれの市町村教育委員会を通じてお申し込みください。
【問い合わせ】 徳島県教育委員会 教育政策課 働き方・労働環境担当（在古）
TEL:089-(621)3159 MAIL: seisaku@ednet.pref.tokushima.jp

随時お申し込みください！

ワークショップによって生まれたアイデア「何から取り組むか？」

- ① 清掃活動の見直し
- ② 職員朝会の見直し
- ③ 朝自習の見直し

「このゆびとまれ国府会」の発足（有志のメンバーによるプロジェクトチーム）

① 清掃活動の見直しチームは「クリーン班」と命名

【決めたこと】 0.5回分は少人数の生徒でローテーション

清掃回数を 週5回 → 週2.5回
※2月に試行実施

② 職員朝会の見直しチーム
③ 朝自習の見直しチーム

（ガットモニング）
「Team GM」として活動

各チーム内での合意に至らなかったため、共通課題である『朝の時間設定』について、2チーム合同による協議を開始

県教委働き方改革担当がフォローアップ「Google県域アカウント（classroomやchat）を使って実現しませんか？」

ワークショップ参加者の感想



- 日々多忙であり、業務の削減や改善についてなかなか取り組むことができない状況だったので、今回のワークショップのように、全職員で話し合い、アイデアを出すことができて、とても有意義な時間だった。すぐ実行できる内容もあったので、関係職員が連携して取り組めば、少しずつ教職員にゆとりが生まれてくると思う。
- テーマを選択し、共通の関心を持つメンバーどうして話し合うことと、話がはずんでスムーズに進んだ。
- 教員一人ひとりの業務量が多岐にわたる中で、何が本当に必要な業務なのか、どこに無理や無駄が生じているのかを振り返る良い機会となった。
- 校務分掌や会議の在り方や、ICTの活用による効率化など、具体的な改善策について意見が交わされ、実際に取り入れられそうなアイデアがたくさん生まれた。
- 業務改善について、具体的な成功例を紹介してくれたのが良かった。バイアスにとらわれず、やってみてうまくいかなければやめればいいという言葉も印象に残っている。ワークショップを行ったことで、互いの価値観などを知り、新しい視点を持つことができた。自分たちで考えてアイデアを出し合うことで、できないと思っていた業務改善ができるのではないかと思えた。
- 教員の多忙化は教育の質にも直結する課題であり、今回の研修を通して「業務改善は働きやすさの向上だけでなく、生徒に向き合う時間を確保するための工夫」であるという共通認識が深まった。今後も継続的に見直しを行い、チームとして支え合いながら、よりよい教育環境を築いていきたい。
- この研修を教育委員会の負担で実施できるように、（管理職が）見つけてくださったことがよかった。